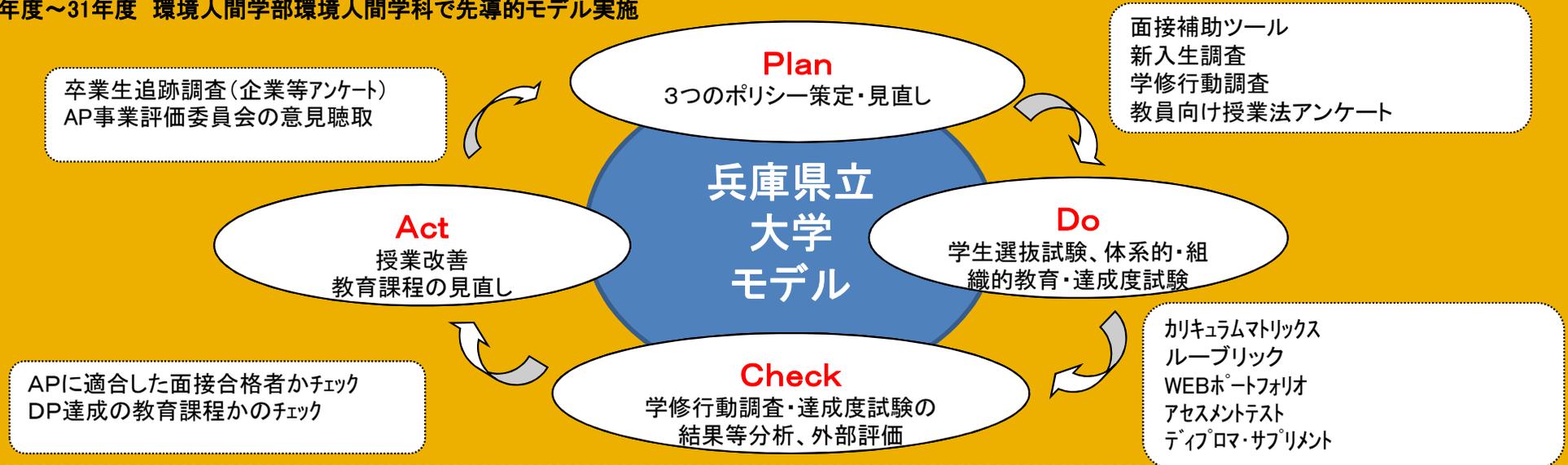


大学等名：兵庫県立大学

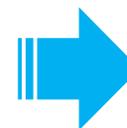
テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

3つのポリシーを起点とするPDCAによる教学マネジメントを有効に機能させるため、学生の主体的な学修のためのルーブリックやWEBポートフォリオ、教員の授業改善のための授業法アンケート、学生の能力伸長を測るためのアセスメントテストの開発などを進める。また、推薦入試においてAPに沿った学生を客観的に選抜していくための推薦入試面接方法やジェネリックスキルを測る面接補助アセスメントツール、学生の学修成果を目に見える形で社会に提示するためのディプロマサプリメントを開発する。以上の取組を先導的モデルとして環境人間学部で導入し、全学への展開を図る。

28年度～31年度 環境人間学部環境人間学科で先導的モデル実施



| 【事業の成果】 | 27年度 (実績値) | 28年度 (目標値) | 29年度 (目標値) | 31年度 (目標値) |
|--------------------------|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 学生の授業外学修時間(1週間当たり) | 7～14時間 (H26年度) | 20時間 | 25時間 | 38時間 |
| 卒業生追跡調査の実施率(調査回答者数/卒業生数) | 25% | 30% | 35% | 50% |
| 事業計画に参画する教員の割合 | 10% | 33% | 83% | 100% |



- ① 学生が目標を定めて、到達度を確認しながら主体的な学修を進めることができる(キャリア形成に役立つ)
- ② 教員又は教員組織が、教育効果を確認しながら授業改善・カリキュラムの見直しができる
- ③ 大学がめざすDPの達成度を確認しながら学長をトップとする組織的な教学マネジメントを可能とする